

睡眠時無呼吸検査

睡眠時の無呼吸の状態を調べる検査です。

睡眠時無呼吸症候群（Sleep Apnea Syndrome : SAS）とは睡眠中に 10 秒以上の呼吸停止、つまり無呼吸が繰り返される病気です。重症例では 1 分 30 秒から 2 分近い無呼吸イベントが出る人もいます。無呼吸が起こり体内の酸素濃度が下がると、脳が覚醒反応をおこします。無呼吸が多くなると浅い睡眠が続くため、深い睡眠が得られず、日中に眠気やだるさを自覚することがあります。日中の眠気は交通事故を起こす事もあり、自分のみでなく他人に危険を及ぼす可能もあるので、早期に適切な治療をしなければなりません。また睡眠時無呼吸症候群は高血圧、多血症、不整脈、虚血性心疾患、心不全、脳血管障害、糖尿病といった合併症を起こしやすいともいわれています。

1. 簡易無呼吸検査

スクリーニング検査として行われる検査です。

小型の機械を持ち帰り、自宅（もしくは病室）にて就寝前に自分で装着します。

翌朝取り外し、機械を返却します。

検査方法

検査室にて機器の貸し出しを行います。

取り付け方法は、貸出時に説明します。（実際に練習していただくことも可能です。）

ご自宅にて、就寝前に取り付けて寝ます。

翌朝、起床後取り外し、病院に機器を返却ください。



検査時の注意点・お願い…

- ご家族に取り付けをお手伝いいただく場合は、一緒に来院ください。
- 予約検査となっております。
- 機器の貸し出し・返却で 2 日連続来院できる日に、予約をおとりください。

検査時間

約 30 分（説明時間）

2. 終夜睡眠ポリグラフ（PSG : Polysomnography）

睡眠時無呼吸の確定診断と重症度の判定を正確に行うために入院で行う精密な検査です。脳波電極等も取り付け、実際の睡眠の状態を見ながらより詳しく無呼吸を見ていきます。

センサーをたくさん取り付けるので、機械の取り付けは技師が行います。

検査方法

夜 7 時ごろ担当の技師が病室にて機械の取り付けを行います。

取り外しは病棟看護師にて行います。



検査時の注意点・お願い…

- ✚ 夜 7 時の機械の取り付け開始までに夕食、風呂、洗顔、歯磨き、トイレ等済ませておいて下さい。
- ✚ 目が覚めても翌朝 6 時までには機械を取り付けておいて下さい。
- ✚ 原則 1 泊 2 日の入院予約検査となっております。
- ✚ トイレは行けますが、ある程度動きが制限されます。

検査時間

約 1 時間（取り付け時間）